

工事費内訳書作成要領

平成 27 年 4 月 1 日

「工事費内訳書（別紙様式）」（以下「内訳書」という。）を次のとおり作成し、入札書と共に提出をお願いします。

1. 様式

原則として別紙様式 を使用してください。

サイズはA 4 とし、両面印刷も可とします。

紙入札の際、複数枚になる場合は、ホチキスでとじてください。

2. 工事費内訳書の記載事項等

(1) 入札者：商号または名称、代表者名を記載してください。共同企業体での入札の場合も同様です。

紙入札の場合、必ず押印をお願いします。押印が無い場合は入札が無効となります。

(2) 工事名：入札公告（工事施行通知書（指名通知書）を含む。）のとおりに記載してください。

3. 記載金額

直接工事費内訳・直接工事費計（A）、共通仮設費計（B）、現場管理費（C）、一般管理費等（D）及び工事価格（入札金額）（E）を次のとおり記載してください。

(1) 内訳書全体について

工事価格（入札金額）には、消費税及び地方消費税相当額を含みません。

第 1 回目の入札書の金額と一致させてください。

値引き額（マイナス数字）により調整をしないでください。

端数処理、端数調整については、内訳書合計額の 1,000 円未満のみ認めます。

その他の調整は認めません。

（端数調整の例）

工事費内訳書の税抜き合計金額	入札金額	適否
1, 2 3 4, 5 6 7 円	1, 2 3 4, 5 6 7 円	○
	1, 2 3 4, 5 6 0 円	○
	1, 2 3 4, 5 0 0 円	○
	1, 2 3 4, 0 0 0 円	○
	1, 2 3 0, 0 0 0 円	×
	1, 2 0 0, 0 0 0 円	×

(2) 「直接工事費（A）」について

工事種別（土木一式工事・建築一式工事等）、入札種類（指名競争入札・一般競争入札）によって、設計図書の様式が異なります。

各入札案件の設計図書の直接工事費内訳に従って作成してください。

作成された内訳各項目の合計額を合計欄に記載してください。

※指名競争入札

ア. 土木関係工事（「土木一式工事」等土木工事積算基準によるもの）

設計図書の「工事内訳表」本工事費の項目のうち「工種（レベル2）」（左から2番目に文字が始まっている行）名を内訳書に転記し、それぞれの「工種」について金額（1式＝合計額）を記載してください。

（工事内訳表 記載例） （工種（レベル2）＝網掛け部分）

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					
道路改良					
道路土工					
掘削工					
埋戻し工					
排水構造物工					
舗装工					
アスファルト舗装工					
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
運搬処理工					

イ. 建築関係工事（「建築一式工事」等建築工事積算基準によるもの）

設計図書の「工事内訳」の「直接工事費」の「科目別内訳」について、各項目をそのまま内訳書に転記し、それぞれの項目について金額（1式＝合計額）を記載してください。

（工事内訳書 記載例） （科目別内訳の項目＝網掛け部分）

建築主体工事				
名称	数量	単位	金額	備考
耐震補強工事				
便所改修工事				
玄関廻り改修工事				
その他改修工事				
処分費				

ウ. その他の工事の場合（その他の積算基準によるもの）

設計図書の「工事内訳書」の記載内容に従って直接工事費内訳を作成してください。ア、イ同様、各記載金額は1式金額を記載してください。

※一般競争入札

ア. 土木関係工事（「土木一式工事」等土木工事積算基準によるもの）

設計図書の「工事内訳表」本工事費の項目のうち「工種（レベル3）」（左から3番目に文字が始まっている行）名までを内訳書に転記し、それぞれの「工種」について金額（1式＝合計額）を記載してください。

イ. 建築関係工事（「建築一式工事」等建築工事積算基準によるもの）

設計図書の「工事内訳」の「直接工事費」の「科目別内訳」、「中科目別内訳」について、各項目をそのまま内訳書に転記し、それぞれの項目について金額（1式＝合計額）を記載してください。

ウ. その他の工事（その他の積算基準によるもの）

設計図書の「工事内訳書」のページ記載内容に従って直接工事費内訳を作成してください。ア、イ同様、各記載金額は1式金額を記載してください。

【注意】

- ・なお、設計図書において、直接工事費内訳部分が分かれている場合があります。
（例）「A工程分」「C工程分」等
各工程ごと、または事業費ごとに直接工事費が分かれていますので、設計図書の内容に従って、工事内訳表の「工種」について、金額を記載してください。
- ・項目が多い場合、2枚目以降に任意の様式を使用されてもかまいません。

(3) 「共通仮設費計（B）」、「現場管理費（C）」、「一般管理費等（D）」についてそれぞれ一式として、合計額を記入してください。

(4) 「工事価格（入札金額）」について

「直接工事費計（A）」、「共通仮設費計（B）」、「現場管理費（C）」、「一般管理費等（D）」の合計額を記載してください。

必ず、入札書の金額（入札金額）と一致させてください。

$$\text{工事価格（入札金額）（E）} = \text{「直接工事費計（A）」} + \text{「共通仮設費計（B）」} \\ + \text{「現場管理費（C）」} + \text{「一般管理費等（D）」}$$

4. 提出

(1) 紙入札 : 入札書に同封してください。

(2) 電子入札 : 入札書の提出時に添付して送付してください。

5. 問い合わせ

不明な点がある場合は、それぞれの発注担当部局（監督員等）に確認をお願いします。